

26年度城東区運営方針自己評価シート（様式1）

1 自己評価結果の総括

(1)1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

「地域まちづくり」の分野では、地域活動協議会をはじめ、様々な活動主体の取組について広報紙や区ホームページ、ツイッターを効果的に利用し、積極的に情報発信などの支援に取り組みました。とりわけ、「第九演奏会」や「SARUGAKU 祭」など、「人と人をつなぐ絆プロジェクト」においては、参加協力団体も増え、区民による自主的なコミュニティが進んできています。また、城北川や大阪大国技館、城東区の歴史や文化など、様々な魅力について積極的な情報発信に努めており、多くの区民が住んでいるまちに愛着がもてるまちづくりに向け取り組みます。

「地域福祉」の分野では、地域支援事業（ソーシャルインクルージョン推進事業～地域全体で考え支えあう地域福祉システム～）を構築し、各校区に地域サポーター、推進コーディネーターを配置し、災害時要援護者支援や地域福祉アクションプラン等の地域福祉活動を推進してきました。また、より身近な子育て情報を提供するため、子育て支援情報誌の配付拠点を拡充し、ホームページ等を活用した子育て情報発信も充実させました。

「地域防災・防犯」の分野では、区内市立小・中学校 22 箇所を津波避難ビルに指定し、地域防災訓練や災害時図上訓練を促進し、区の防災訓練も充実させました。また、自立支援施設の拠点及び高齢者福祉施設を福祉避難所として機能させるため、備蓄物資配備の調整を行い災害時要援護者の受け入れに備え、災害時要援護者も参加した防災訓練を実施してきました。

防犯対策においては、防犯ブザーを区内の市立小学校全児童と、市立中学校女子生徒全員へ配付し、安全なまちづくりに向け取り組みました。

(2)解決すべき課題と今後の改善方向

小学校各校下でのつながりが基礎となるまちづくりを推進し、様々な地域の活動主体が連携する、豊かなコミュニティづくりを重点的に支援していきながら、地域福祉の課題として、高齢者や障がい者など要援護者の見守りネットワークの強化、絵本を通じた地域の子育て情報の発信などを充実させていきます。

また、区内に広域避難場所がないため、平成 28 年 1 月末完成予定の新庁舎と、隣接する蒲生公園及び蒲生中学校を一体的に機能できるよう、防災拠点を整備するとともに、防犯カメラの設置など地域防犯力の向上に重点的に取り組みます。

区政運営においては、窓口サービスの向上や人材育成、コンプライアンスの徹底を図り、区民の皆さんに信頼される区役所づくりをめざして、職員一丸となって取り組みます。